

## ドゥーマンズ株式会社<sup>i</sup>

「地球上のすべての人たちの生活を快適にしたい、それが Domans の目標です。」

(二宮社長)

### 1. ドゥーマンズ株式会社

#### 企業概要

10 ドゥーマンズ株式会社（以後、ドゥーマンズ）は、本社を東京渋谷区に置く、注文家具を含む住宅設備（詳細は後述）のデザインから設計情報までをオンデマンドで自動生成するシステム『FurnitureMaker』の開発、カスタマイズおよびライセンスを主に手がけるベンチャー企業である。設立は 2000 年 6 月、創業時の資本金は約 4,400 万円、創業者は二宮健一氏である。2010 年度（第 11 期）の時点での資本金は約 1 億 7,200 万円、売上高は約 1 億 7,300 万円、当期純利益は 770 万円となっている（主な株主構成は図表 1 を参照）。従業員数は 10 名、半数がシステム開発を担当し、もう半数が設計営業と管理を担当している。

20 ドゥーマンズの事業の核となるのが、ライセンス事業である。ドゥーマンズはオーダー家具に関するソフトウェア特許を皮切りに、2011 年までに約 70 もの特許を日本のみならずヨーロッパ、アメリカ、韓国などに申請している。ちなみに最初（1997 年）にドゥーマンズによって申請されたソフトウェアに関する特許は、日本で初めてのソフトウェア特許となっている。ドゥーマンズの基本的なビジネスモデルとは「問題解決した内容の内、権利化したいものをいち早く動かして、動かした内容、技術を作って、その技術を権利化して同業他社もしくはやりたい企業に提供しながら一緒に市場をつくっていく」（二宮社長）というものである。この点において、ドゥーマンズは単なるメーカーやシステム開発企業とは全く異なる『特許の取得と使用ロイヤリティを軸としたライセンスビジネス』企業と言えるであろう。

30 創業から現在まで、ドゥーマンズの歩みは決して平坦な道とはいえなかった。「誰に聞いても、絶対に無理、と言われた」（二宮社長）注文家具のシステム化に取り組むため、まさに手探りの状態からスタートしたドゥーマンズだったが、2011 年の段階でようやくそのソフトウェア開発が一段落する予定であった（ドゥーマンズのこれまでの沿革についての概要は、図表 2 を参照）。

<sup>i</sup> 本ケースはドゥーマンズ株式会社の協力を得て、高千穂大学 助教 小林康一が執筆し、株式会社ヘッドクォーター 代表取締役 山内英二郎、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 企画部 調査課（旧経営支援情報センター）鈴木直志統括ディレクター、矢口雅哉ディレクター、堀田恭子の意見を参考に作成したものである。また、クラス討議の資料として作成されたものであり、特定の経営管理に関する適切又は不適切な例示をすることを意図したものではない。本ケースの著作権は、独立行政法人中小企業基盤整備機構に帰属する。（2012 年 3 月）